



内科 科長  
星 健太  
ほし けんた

きょうは  
内科  
です



こんにちは  
診察室です。

# 膠原病とは

「こちらから」こんにちは診察室です。のバックナンバーがご覧いただけます。



## 膠原病って知ってますか？

「コウゲンビョウ。」  
音だけで聞いて、高原病と考えると高原に行くとかかる病気？なんて考える人もいるかもしれません。「コウゲンビョウ」は、漢字で書くと「膠原病」となります。我々日本人は漢字を見ると、その漢字の意味で、分からない単語でもある程度推測ができたりしますが、膠原病の「膠」の字って何の意味が分かりますか？「膠」は訓読みで「にかわ」といいます。「にかわ」と聞いても意味が

分からない人多そうです。

「にかわ」を広辞苑で調べてみると「獸・魚類の骨・皮・腱・腸などを水で煮た液を乾かし固めた物質。セラチンを主成分とし透明または半透明で弾性に富み、主として物を接着するのに用いる」と書いてあります。膠原病を知るためのヒントが少しありますね。ちなみに広辞苑で膠原病を調べると、「皮膚・筋・関節などの結合組織に炎症・変性が起こり、膠原繊維が増える慢性疾患の総称」と書いてあります。

ここで重要なのは総称ということ

です。膠原病を1つの病と考えている人もいるかもしれませんが、膠原病は1つの疾患ではなく、いくつかの疾患が集まったグループなのです。

ここで膠原病という名前の生まれた経緯や、他の似たような病態であるリウマチ性疾患や自己免疫性疾患との違いや、自己免疫についてなどを触れていくと、何ページにもわたって話さなくてはならなくなるので、そこは割愛して簡単に言ってしまうと、「膠原病とは」原因不明の、免疫の異常で引き起こされる炎症によって、骨や

筋肉や皮膚、様々な内臓に障害を発生させる慢性的な疾患群といえると思います。

## 膠原病の症状

先ほども言った通り、膠原病はいろいろな疾患があり、それぞれの病気に特徴的な症状があります。様々な膠原病でよくみられる症状もあります。それは、持続する発熱、多関節痛、発疹、倦怠感や体重減少などがあります。一見すると風邪の1症状に見えることもあります。

## 膠原病の検査

膠原病を診断する検査として、抗核抗体というものがあります。これは言葉の通り、人間の細胞にある核に対する自己抗体の総称です。この抗核抗体の陽性率が高い膠原病もあるので、膠原病を疑ったら検査することになります。しかし、感度の低い検査でもあり、正常な人でも陽性になる人がいます。そのため抗核抗体陽性イコール膠原病ではないので注意してください。また、それぞれの膠原病にはそれぞれの疾患特有の自己抗体があったりします。

## 膠原病の治療

膠原病の治療には多くの疾患でステロイドを使用します。膠原病の多くは免疫の異常で様々な症状が出ているので、その免疫反応を抑える目的でステロイドを使用します。ステロイド以外にも免疫抑制剤と呼ばれる薬剤を使うのもそのためです。しかし、あくまで抑える薬であり、根治や完治を目指す

す薬ではないので、長期間使用していく必要があります。

## 膠原病の具体例

今まで膠原病の総論的なことを話してきましたが、イメージしづらいと思うので、いくつかの膠原病について具体的に話してみようと思います。

なお、関節リウマチも膠原病の1つと言えますが、関節リウマチ単独でその他の膠原病すべて合わせたよりも患者数が多いこと、その他の膠原病に比べると皮膚・内臓病変が少なく、関節症状が主体になること、本邦においては比較的最近までは整形外科医が治療の中心にあったことなどから、他の膠原病とは区別されることが多いので、今回は触れないでおきます。

### 「全身性エリテマトーデス」

免疫の異常で様々な臓器が障害される疾患で、20歳代から40歳代の女性に多く、妊娠出産に影響す

ることが多いです。症状としては、高熱が続く、頬の部分が蝶のように見える蝶形紅斑や、腎臓が障害され蛋白尿・血尿が出たり、中枢神経も障害され、けいれんや意識障害が出ることもあります。治療は先ほど話したステロイドを中心に使用しますが、近年全身性エリテマトーデスに対する薬が増えてきています。

### 「多発性筋炎、皮膚筋炎」

名前の通り、筋肉に炎症が起こる膠原病で、筋症状だけでなく多発性筋炎、皮膚筋炎も合併すると皮膚筋炎となります。体幹に近い上腕筋や、大腿筋を中心に炎症が起こり、その部位の痛みや筋力低下が出現し、腕が上がらなくなったり、しゃがみ立ちできなくなったり、ひどいとベッドから起き上がれなくなったりします。

皮膚筋炎では、顔の上や手指などに特徴的な皮疹が出たりします。

### 「ベーチェット病」

口腔粘膜のアフタ性潰瘍（口内炎）、結節性紅斑などの皮膚症状、眼のぶどう膜炎、外陰部潰瘍の4症状を主とし、急性炎症発作を繰り返すことを特徴とする疾患です。目に症状が出る膠原病で、ひどくなれば失明することもあります。この病気が若い人がかかることが多く、30歳代がピークです。ドラマや小説などで失明する難病として書かれていることを何度か見ましたが、失明まで進む患者さんはそこまでいません。

## おわりに

膠原病は一番多い疾患の全身性エリテマトーデスでも日本に約6万人と言われている、頻度の少ない病気です。ご自身やご家族が膠原病を発症するということはそんなに多くありませんが、原因不明の発熱や関節痛が続くなどあれば、膠原病も疑って、受診してみてください。

# 「膠原病」についてご説明します。